

【資料3 集計】令和元年度地方創生推進交付金事業のKPI評価

○地方創生推進交付金事業名

水栓バルブ発祥の地・山県の水栓バルブ製造業リノベーション事業

○KPIの設定・成果

	KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4					
KPIの名称	水栓バルブ産業新規採用者数		水栓バルブ産業の地域経済牽引事業の新規事業件数		地域内勤務者所得年間増加額		地域経済牽引事業による付加価値創出額					
KPI基準値		0人		0件		3,440千円		0千円				
KPI目標値 (増加分)	平成29年度	10人	平成29年度	0件	平成29年度	0千円	平成29年度	0千円				
	平成30年度	45人	平成30年度	3件	平成30年度	20千円	平成30年度	50,000千円				
	令和元年度	50人	令和元年度	11件	令和元年度	40千円	令和元年度	150,000千円				
	累計(A)	105人	累計(A)	14件	累計(A)	60千円	累計(A)	200,000千円				
KPI実績値 (増加分)	平成29年度	43人	平成29年度	0件	平成29年度	-千円	平成29年度	0千円				
	平成30年度	53人	平成30年度	3件	平成30年度	-千円	平成30年度	2,083千円				
	令和元年度	41人	令和元年度	14件	令和元年度	-千円	令和元年度	108,745千円				
	累計(B)	137人	累計(B)	17件	累計(B)	0千円	累計(B)	110,828千円				
達成度合 (B/A)		130%	目標値を達成		121%	目標値を達成		0%	計測不能 ※		55%	目標値の5割以上を達成

○事業の地方創生への効果（市の評価案）

事業効果

地方創生に相当程度効果があった

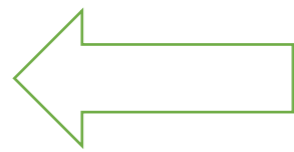
一部のKPIが目標値を達しなかったものの、概ね成果が得られたと見なされる場合

※ KPI 3については、計画策定以降のRESAS（地域経済分析システム）のデータ更新がなく、計測不能となった。

※ 委員におかれましては、下記の評価（①～④）、指摘・質問を記入してください。

※ 委員の
評価

②



- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった

- 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたと見なされる場合
- 例：一部のKPIが目標値を達しなかったものの、概ね成果が得られたと見なされる場合
- 例：KPI達成状況は芳しくないものの、事業開始前よりも取組が先進・改善したとみなされる場合
- 例：KPIの実績値が事業開始前よりも悪化した、または取組が先進・改善したとは言えない場合

※ 委員の指摘・質問

・ コロナあり。今後、こうした影響も加味した施策を打ってみては。
 ・ KPIは計測不能になっており、KPIの設定に問題無かったのでしょうか。
 ・ 水栓バルブ事業に特化せず、自宅通勤の希望が多いというニーズを活用し、地元の様々な企業への見学会、アプローチを積極的に行っては。
 ・ KPI 3について、計測方法を変えて計測すべきだと思う。
 ・ KPI 3を設定する段階で、計測不能になることは予測できなかったのか。達成具合がきちんと把握できるものを設定すべき。
 ・ 計測不能となっているが、KPI 3は別途方策で検証することはできないのか。

【資料3 集計】令和元年度地方創生推進交付金事業のKPI評価

○地方創生推進交付金事業名

田舎暮らし推奨加速化事業

○KPIの設定・成果

	KPI 1		KPI 2		KPI 3		KPI 4					
KPIの名称	空き家バンク登録物件を通じた移住定住者数		転出超過人数		空家バンクへの登録件数		空家の賃貸・売買契約数					
KPI基準値		16人		200人		20件		5件				
KPI目標値 (増加分)	平成29年度	30人	平成29年度	190人	平成29年度	30件	平成29年度	5件				
	平成30年度	40人	平成30年度	170人	平成30年度	60件	平成30年度	10件				
	令和元年度	50人	令和元年度	150人	令和元年度	100件	令和元年度	20件				
	累計(A)	120人	累計(A)	510人	累計(A)	190件	累計(A)	35件				
KPI実績値 (増加分)	平成29年度	28人	平成29年度	131人	平成29年度	26件	平成29年度	24件				
	平成30年度	7人	平成30年度	67人	平成30年度	19件	平成30年度	10件				
	令和元年度	14人	令和元年度	162人	令和元年度	20件	令和元年度	13件				
	累計(B)	49人	累計(B)	360人	累計(B)	65件	累計(B)	47件				
達成度合 (B/A)		41%	目標値の達成は5割未満		142%	目標値を達成		34%	目標値の達成は5割未満		134%	目標値を達成

○事業の地方創生への効果(市の評価案)

事業効果

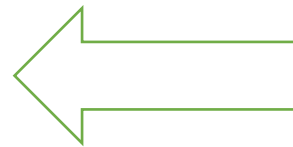
地方創生に効果があった

KPI達成状況は芳しくないものの、事業開始前よりも取組が先進・改善したとみなされる場合

※ 委員におかれましては、下記の評価(①~④)、指摘・質問を記入してください。

※ 委員の
評価

③



- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった

- 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたと見なされる場合
- 例：一部のKPIが目標値を達しなかったものの、概ね成果が得られたと見なされる場合
- 例：KPI達成状況は芳しくないものの、事業開始前よりも取組が先進・改善したとみなされる場合
- 例：KPIの実績値が事業開始前よりも悪化した、または取組が先進・改善したとは言えない場合

※ 委員の指摘・質問

・ KPI 2, 4 は重要と思うので②にした。
 ・ 空き家バンクへの登録を充実させることが最も効果的で、この方向性で正しいと思います。
 ・ ZIP-FMの山県エリアデーは聞いたことがある。WebサイトのYAMAGATA BASEからの情報発信は、魅力的だと思う。閲覧数の増加はやはり効果があると思う。豊かな自然のインスタ映え、転出超過人数、空き家の賃貸は結果が出ている。
 ・ 空き家バンクへの登録物件を通じた移住者を含め、移住者全体の状況はどうなっているか。転出超過人数の目標達成の要因をどのように分析しているか。

【資料3 集計】令和元年度地方創生推進交付金事業のKPI評価

○地方創生推進交付金事業名

日帰り観光拠点「伊自良湖」リノベーション事業

○KPIの設定・成果

	KPI 1			KPI 2		
KPIの名称	伊自良湖周辺施設への来場者数			伊自良湖周辺施設での売り上げ収入増額		
KPI基準値		4,800	人		6,500	千円
KPI目標値 (増加分)	平成29年度	2,200	人	平成29年度	3,500	千円
	平成30年度	8,000	人	平成30年度	4,500	千円
	令和元年度	10,000	人	令和元年度	6,000	千円
	累計(A)	20,200	人	累計(A)	14,000	千円
KPI実績値 (増加分)	平成29年度	8,864	人	平成29年度	4,727	千円
	平成30年度	13,626	人	平成30年度	12,125	千円
	令和元年度	13,655	人	令和元年度	9,140	千円
	累計(B)	36,145	人	累計(B)	25,992	千円
達成度合 (B/A)		179%	目標値を達成		186%	目標値を達成

○事業の地方創生への効果（市の評価案）

事業効果

地方創生に非常に効果的であった

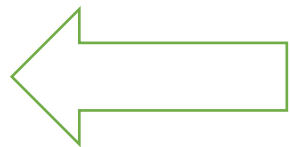
全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなされるため

※ 委員におかれましては、下記の評価（①～④）、指摘・質問を記入してください。

※ 委員の

評価

①



①地方創生に非常に効果的であった

例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなされる場合

②地方創生に相当程度効果があった

例：一部のKPIが目標値を達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなされる場合

③地方創生に効果があった

例：KPI達成状況は芳しくないものの、事業開始前よりも取組が先進・改善したとみなされる場合

④地方創生に対して効果がなかった

例：KPIの実績値が事業開始前よりも悪化した、または取組が先進・改善したとは言えない場合

※ 委員の指摘・質問

・伊自良湖周辺施設とは、具体的にどこになるのか。資料あるのか。
 ・目標を大幅に上回っていることは評価できるが、評価・検証資料はないが。
 ・伊自良湖周辺施設とは、どこまでなのか。